

1 染付芭蕉竹松図筆筒 1口 (作品リストNO.1)

高12.8cm 口径8.0cm

天保5年(1834)

当館蔵(遠城和雄氏寄贈)

筆を差す筒。胴に垣根の内に松や竹、芭蕉と置き石のある庭の景が描かれ、七言二句の詩文が添えられています。底部の銘から、窯が藩に召し上げられる前の絹屋窯時代の作と判断され、梅園なる人物の注文により制作されたものであることが分かります。この期の作品は数点しか知られておらず、貴重な存在です。



底部銘「天保五歳次甲午曆初冬日 湖東于佐和
山麓製之 梅園蔵」

2 赤絵金彩芦雁図水指 1合 (作品リストNO.7)

鳴鳳絵付

高15.0cm 口径14.5cm

江戸時代後期

当館蔵(井伊家伝来資料)

月下に舞い降りる雁と、風に揺れる芦を描き出した共蓋の水指。関東大震災での罹災により全体に黒ずみがあるものの、モチーフを大きく配する大胆な構図や雁の細密な毛描きが出色の名品です。

鳴鳳は、江戸時代、湖東焼の藩窯に抱えられた絵付師で、井伊家当主の注文品などの高級品の絵付に携わりました。その作品は、細密な筆遣いや洗練されたデザインに特徴があり、気品にあふれた作風は、湖東焼の真骨頂を示しています。



蓋裏銘「湖東 鳴鳳」

3 色絵盆栽に花卉蟹図鉢 1口（作品リストNO. 41）

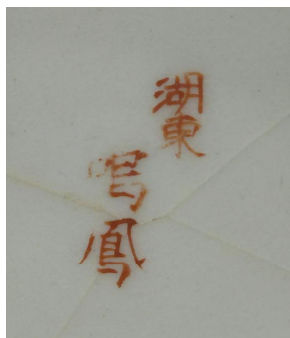
鳴鳳絵付

高7.3cm 口径17.7cm

江戸時代後期

個人蔵

絵付師鳴鳳の色絵作品。芙蓉の折枝、盆栽鉢に蟹など、陶磁器の意匠としては珍しいモチーフを描いています。中国清時代の新技法である粉彩を模し、薄紅色や黄色などを多用する華やかな色遣いは鳴鳳作品でも他に類を見ず、新鮮な創意が感じられます。彦根市内の旧家に伝来した品で、本展が初公開となる作品です。



高台内銘「湖東 鳴鳳」

4 染付祥瑞写松竹梅文水指 1合（作品リストNO. 16）

口径13.6cm 高16.6cm

江戸時代後期

当館蔵（鈴木仙太郎氏寄贈）

染付の祥瑞写の水指。祥瑞とは、明時代末期頃に中国で制作された染付で、特に吉祥文様を多用する点が特徴です。祥瑞は呉須の発色が良く、華やかな雰囲気をもつことから、日本では古くから、染付の中で最高のものとされてきました。本作は、祥瑞の意匠に倣い、胴の外側に松竹梅や福祿寿の文字、龍、小禽などを描いています。青味がかった白磁や鮮やかな呉須の色合いが美しい優品です。



底部銘「湖東」



5 ^{い い なおすけしよじよう あんどうしちろう え もんさだのぶあて} 井伊直弼書状 安東七郎右衛門貞信宛 1通 (作品リストNO. 10)

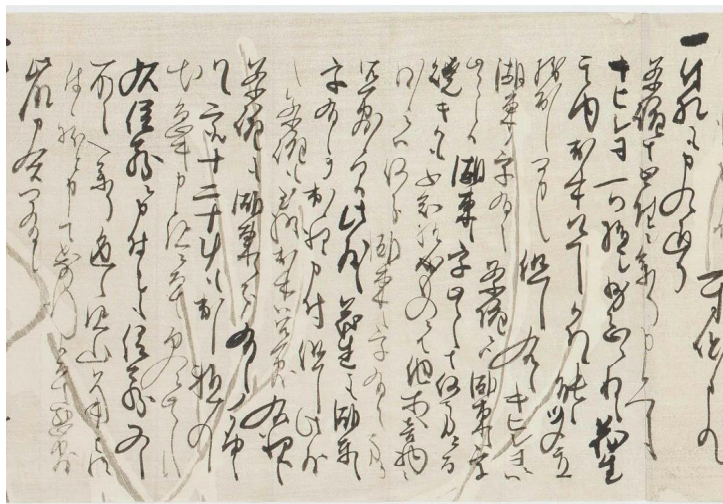
重要文化財

縦16.3cm 横113.0cm

弘化3年(1846)12月11日付

当館蔵(彦根藩井伊家文書)

^{よつぎ}世継時代の井伊直弼から家臣に宛てて出された書状。彦根から江戸に届いた湖東焼の茶碗について述べています。「湖東」の銘が無いものは、どこで焼いたか分ならず、「音物」(贈り物)にするには「湖東」の字がある方が良くと書かれています。すでに世継の頃から「湖東」の二字銘を入れて湖東焼のブランドを明確に示すべきであるという意思を持っていたことがうかがい知れます。



6 ^{しゅこう ことうつちやき} 手稿「湖東土焼」 1綴 (作品リストNO. 35)

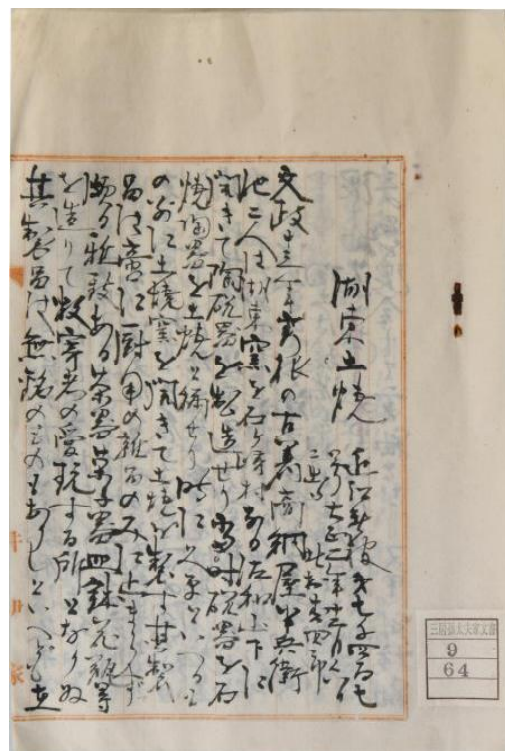
北村寿四郎 筆

縦24.0cm 横16.8cm

明治時代末期～大正時代初期

個人蔵(三居孫太夫家文書)

近代彦根の郷土史家、北村寿四郎(1861～1944)の手書き原稿。明治から大正時代に大津で発刊された新聞『近江新報』の大正2年(1913)12月6日の記事のために執筆されました。湖東焼の土焼、つまり陶器について記されており、大正14年(1925)に刊行された同氏の著書『湖東焼之研究』の第6章の民窯湖東土焼の項とほぼ同じ内容ですが、ところどころにより詳細な記述も見られます。



テーマ展「湖東焼賞玩―蒐集と研究の軌跡―」展示作品リスト

◎…国指定重要文化財

NO.	指定	作品名称	数量	制作者	制作年	所蔵者
第一章 湖東焼の盛衰						
湖東焼のはじまり ～絹屋窯誕生～						
1		染付芭蕉竹松図筆筒	1口		天保5年(1834)	当館(遠城和雄氏寄贈)
藩窯湖東焼の展開 ～井伊家12代直亮、13代直弼と湖東焼～						
2	◎	御出留	1冊		弘化4年(1847)2月10日条	当館(彦根藩井伊家文書)
3		染付牧童図大皿	1枚		江戸時代後期	個人
4		染付竹林七賢人図花生	1口		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
5		青手古九谷写菊蝶文皿	5枚		江戸時代後期	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
6		赤絵金彩羅漢雲鶴文茶碗	1口	幸斎 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
7		赤絵金彩芦雁図水指 (関東大震災罹災品)	1合	鳴鳳 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
8		赤絵金彩柳翡翠図建水 (関東大震災罹災品)	1口	鳴鳳 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
9		赤絵金彩丸文散硯屏	1基	鳴鳳 絵付	江戸時代後期	個人
10	◎	井伊直弼書状 安東七郎右衛門貞信宛	1通	井伊直弼 筆	弘化3年(1846)12月11日付	当館(彦根藩井伊家文書)
11		井伊直弼書状 上田成伴宛 赤絵金彩近江八景図盃洗下図添	1通	井伊直弼 筆	嘉永3年(1850)7月26日	個人(上田友庵家文書)
12	◎	湖東焼注文覚	1通	井伊直弼 筆	安政6年(1859)5月18日	当館(彦根藩井伊家文書)
13		色絵大根図茶碗	1口		江戸時代後期	個人
14		松原湊船年寄連署覚書	1枚		江戸時代後期	当館(金澤晃太郎氏寄贈・磯崎家文書)
15		青磁牡丹文耳付花生	1口		江戸時代後期	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
16		染付祥瑞写松竹梅文水指	1合		江戸時代後期	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
17		焼付絵窯元鑑札	1枚		安政3年(1856)12月	個人
18		焼付絵窯元株掟書	1枚		安政4年(1857)	個人
19		赤絵金彩四方形唐人物花鳥図火鉢	1口	自然斎 絵付	江戸時代後期	当館(河本英典氏寄贈)
20		色絵花卉図蓋置	1箇	自然斎 絵付	江戸時代後期	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
21		図案(自然斎所用)	1冊		江戸時代後期～明治時代初頭	個人
22		赤絵金彩唐人物図急須	1合	赤水 絵付	江戸時代後期	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
23		赤絵虎溪三笑文六角德利	1口	床山玉兎 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
24		赤絵金彩人物図鉢	1口	賢友 絵付	江戸時代後期	個人
藩窯の終焉と近代の幕開け						
25		円山湖東焼 染付楼閣山水図筒花生	1口		明治2年(1869)	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
26		長浜湖東焼 染付花卉図急須	1合		明治3～6年(1870～73)	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
27		京焼 染付仙人図コーヒークップ・ソーサー	2組	幹山伝七 作	明治時代	個人
28		京焼 染付釉裏紅楼閣山水図盃洗	1口	井上松坪 作	明治3年(1870)	当館(鈴木仙太郎氏寄贈)
第二章 蒐集と研究						
蒐集と賞玩						
29		石香軒蔵品展覧図録	1冊		昭和11年(1936)	個人
30		染付雲龍文鉢	1口		江戸時代後期	個人
31		湖東写し染付菊花図中皿	5枚		明治時代末期～大正時代初期	当館
32		湖東写し赤絵金彩菊文鉢	1口		明治時代末期～昭和時代	個人
研究の嚆矢～「湖東焼之研究」～						
33		「湖東焼之研究」	1冊	北村寿四郎 著	大正14年	当館
34		北村寿四郎書簡 井伊直忠宛	1通	北村寿四郎 筆	大正11年(1922)5月8日	個人(三居孫太夫家文書)
35		手稿「湖東土焼」	1綴	北村寿四郎 筆	明治時代末期～大正時代初期	個人(三居孫太夫家文書)
第一級の研究資料～関東大震災罹災品～						
36		染付松虎図壺 (関東大震災罹災品)	1合		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
37		赤絵金彩花卉図鉢 (関東大震災罹災品)	1口	鳴鳳 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
38		染付色絵柳図水注 (関東大震災罹災品)	1合	幸斎 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
39		色絵菊蝶文皿 (関東大震災罹災品)	1枚		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
40		染付祥瑞写鶴形向付 (関東大震災罹災品)	1枚		江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
研究の現在						
41		色絵盆栽に花卉蟹図鉢	1口	鳴鳳 絵付	江戸時代後期	個人
42		染付十六羅漢図水屋壺	1口		江戸時代後期	個人
43		染付鳳凰文薄端形花生	1口		江戸時代後期	個人
44		赤絵捻文向付	1口	弥平 絵付	江戸時代後期	個人
(参考)		赤絵金彩捻文向付 (関東大震災罹災品)	1口	弥平 絵付	江戸時代後期	当館(井伊家伝来資料)
45		窯道具片(湖東焼窯跡採集遺物)	一括		江戸時代後期～明治時代	当館